

2025 年 11 月 6 日

(一社) 全関西大学女子バスケットボール連盟  
会 長 野 老 稔 様  
専務理事 坂 井 和 明 様

2025 年度 2 部・3 部入替戦体育館変更に関する経緯説明の要望書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本学活動へのご理解ご協力誠に御礼申し上げます。

首記の件、主催大会の健全なる運営と、貴連盟の更なる発展を願い、下記の通り要望いたします。ご検討のうえ、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

一、要望の内容

- ① 入替戦前 2 戦目の体育館が前日急遽変更になった経緯の説明
- ② 体育館変更にあたり SNS・HP などでの周知がなかった理由の説明
- ③ 今後の改善案の提示
- ④ 上記 3 項目に関する内容を貴連盟での共有

二、要望の理由

- ・今後、このようなことがあると大学側としても体育館確保が困難になる
- ・情報の告知がなければ、観戦者を含め試合の運営及び開催予定であった大学や公共施設に混乱を期す可能性がある
- ・改善案や方針を示されなければ、今回の懸案事項は前例として残り、試合当事者の都合で試合会場が変更される可能性がある
- ・情報を共有し、連盟の今後より良い運営と発展を願うため

以上

住 所：大阪府和泉市まなび野 1 - 1  
名 称：桃山学院大学  
代 表 者：女子バスケットボール部 部長 村上佳司  
E-mail : keishi@andrew.ac.jp

令和7年11月9日

桃山学院大学バスケットボール部

部長 村上 佳司 様

(一社) 全関西大学女子バスケットボール連盟

専務理事 坂井 和明

競技部長 村上なおみ

**「2025 年度 2 部・3 部入替戦体育館変更に関する経緯説明の要望書」に対するご回答**

表題の件、11月6日に、貴殿よりいただきました要望書について、文書にて回答させていただきます。

**① 入替戦第2節第2戦目の体育館が前日急遽変更になった経緯**

10月21日(火)

今年度の入替戦については、競技部で以下の原則を確認し会場を検討

1. 可能な限り全試合中立な場所(公営含む)で実施することを最優先とする。
2. 1が不可能な場合(特に追加試合の有無が勝敗によるため事前に決められない場合など)は上位校を優先して会場を検討する。

その上で、2部・3部入替戦の会場については、11月1日(土)の第2節第1戦目の東和薬品 RACTAB ドームが確保できているため、追加試合の11月2日(日)の会場を以下の経緯を経て決定

10月23日(木)

- ・上位校である奈良学園大学と神戸親和大学へ学連→主務へ打診(LINE)  
→奈良学園大学は「自チームの1試合のみ使用可能」  
神戸親和大学は「他の部活が使うため使用不可」

・競技部で検討

第2節第2戦目が必要になった場合、奈良学園大学では自チームの1試合だけ開催可能なため、もう1会場が必要になる。しかし、学連員の人数不足により2会場に分散することは避けたい。したがって、奈良学園大学会場での開催は無しにして、1会場で2試合開催できる会場を検討した結果、桃山学院大学を候補に選定

10月25日(土)

- ・学連→桃山学院大学鈴木監督へリーグ戦会場にて2試合分を打診  
→「使用可能」の返答

- ・学連→奈良学園大学主務へ「奈良学園大学を使用しなくなった」ことを打診(LINE)

10月27日(月)

- ・学連ホームページに第2節第2戦目会場(2試合分)を桃山学院大学で掲出

10月29日（水）

- ・神戸親和大学寺井監督→荒木副会長へ抗議連絡

「入替戦 2 戦目の体育館について当事者である桃山学院大学で入れ替え戦をおこなうのは不公平ではないか、アドバンテージが上部にあるべきであるから再考を望む」

- ・荒木副会長→坂井専務理事へ連絡
- ・坂井専務理事→寺井監督へ連絡

坂井：今回の桃山学院大学会場は、神戸親和大学から『使用不可』と返信があったため決定したことである

寺井：学生が監督に連絡せずに返答したものであり、体育館は使用可能である

坂井：親和が体育館を確保できるということであるならば、優先順位の設定通り親和での開催を競技部で検討してもらうが、今後は大学内部での学生と監督の連絡を密に取ってください

寺井：主務と報連相を密にします

- ・坂井→競技部へ検討依頼（LINE）
- ・競技部での再検討

・実施予定日までまだ時間があるため、入替戦の会場校は極めてデリケートな問題であることを考慮し、可能であれば原則通りの実施方法を再検討する

・方針：神戸親和大学で 2 試合分確保できるなら神戸親和大学で行う

- ・学連→神戸親和大学主務へ依頼（LINE）

10月30日（木）

- ・神戸親和大学主務→学連（LINE）

体育館確保の必要時間についての問い合わせ→5 時間ほどの確保を依頼

10月31日（金）

- ・学連→神戸親和大学主務へ催促の連絡（LINE）

→9 時から 17 時で確保

- ・村上競技部長→奈良学園大学藤川監督へ再度 11 月 2 日の体育館利用可能かどうか打診  
→「既に他のクラブが使用することになったため使用不可」

- ・村上競技部長→大阪国際大学東監督へ 11 月 2 日の体育館使用可否を打診  
→「使用可能」

- ・村上競技部長→大阪大谷大学小林監督へ 11 月 2 日の T0 派遣依頼  
→「T0 学生の派遣可能」

- ・学連→桃山学院大学林マネージャーへ変更通知（LINE）20:06

「お疲れ様です。本当にすみません。

11/2 の会場について、こちらの都合とトラブルで会場を親和と奈良学でおこなうことになって、桃山学院大学をキャンセルさせていただきたいです。

本当に急な連絡で申し訳ないです。よろしくお願いいたします。」

## ② 体育館変更にあたり SNS・HP などでの周知がなかった理由

- ・2会場の確定が10月31日22:00時頃であり、翌日11月1日の第2節第1試合前日となったため、ホームページおよびSNSでの掲出機会を失った。

## ③ 今後の改善案

入替戦については参加チームがリーグ終了まで決定できないため事前に会場を確定することが難しいが、当連盟として入替戦の体育館確保について以下の通り改善案を検討します。

- (1) 開催会場の優先順位を明文化し連盟内で共有する
- (2) 入替戦の会場として公営体育館の事前確保を目指す
- (3) 各大学主務との確認時に部長および監督の了解が取れているかの確認を行う
- (4) 決定後は、原則として変更せずに実施する
- (5) 会場変更等が発生する場合には
  - 1) 変更が決定する前に「変更の可能性が発生したこと」の連絡を行う
  - 2) LINE等メッセージのやり取りだけで済まらずに直接電話連絡を行う
  - 3) 学生委員からの連絡だけでなく可能な限り連盟理事から
- (6) 会場の決定および変更について当該チームへの伝達だけでなくホームページおよびSNSでの周知を図る

## ④ 上記 3 項目に関する内容の当連盟での共有

本件を受けて、当連盟では以下の通り周知徹底を図ります。

当連盟内での情報共有

- (1) 11月17日理事会での報告

学連所属大学との情報共有（代表者会議の機会を通じて）

- (1) 学連一主務間での連絡時に部長および監督との報連相を密にすること
- (2) 会場決定等を管轄する競技部とホームページやSNS発信を管轄する広報渉外部間の連携を密にし、決定事項の広報にタイムラグが発生しないようにすること

本事案により、会場校を引き受けていただいた桃山学院大学様には、多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。